

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

事業名 県営育成牧場施設等修繕費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 酪農・飼料係 電話番号：058-272-1111(内4139)

E-mail：c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,000 千円 (前年度予算額： 5,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
要求額	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜県家畜育成牧場(東濃牧場及び飛騨牧場)は、酪農・肉用牛生産の基礎となる繁殖雌牛の生産拠点とする目的で昭和48年に整備され、設置当初から(一社)岐阜県農畜産公社(以下「公社」という)に運営を委託していた。

平成18年度からは指定管理者制度を導入し、公社が指定管理者となり現在も引き続き牧場の管理運営を行っている。

当該施設は、畜産振興の基幹施設の役割を担うとともに、県民と畜産物のふれあいの場として、今後も施設の安全性確保及び運営継続が求められている。

施設等の修繕について、公社との協定では、経年劣化等に起因する修繕・更新は県が負担することとなっている。

現在、経年劣化により構造的な損傷が著しいことから、応急処置では対応できず、大規模な修繕が必要となってきた。

(2) 事業内容

県営家畜育成牧場で発生する修繕事案のうち県が負担すべき修繕に対し、迅速かつ弾力的な対応をするため、包括的な県営家畜育成牧場施設等修繕費として予算計上する。

（３）県負担・補助率の考え方

指定管理者と締結した協定書による県の責任区分を履行する。

（４）類似事業の有無

無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	5,000	修繕料 5,000千円 今後５年間（令和８年度～令和12年度）の県有施設・物品の 修繕等の見込み額の平均額 $27,600\text{千円} \div 5\text{年} = 5,000\text{千円/年}$
合計	5,000	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）関係契約等

岐阜県東濃牧場の管理に関する基本協定書（抜粋）

岐阜県飛騨牧場の管理に関する基本協定書（抜粋）

（施設及び設備の維持保全）

第17条 管理物件のうち施設及び設備の増築、改築又は改造は、甲（県）が自己の責任及び費用において実施するものとする。

- 2 1箇所あたり60万円未満である施設等の修繕（経年劣化等により施設等を本業務の用に供することができなくなった場合において、当該施設等に代わる物を新たに購入し、または調達するときを含む。）は、乙（指定管理者）が自己の責任及び費用において速やかに行わなければならない。

（備品の購入等）

第18条 1 物品あたり10万円未満である備品の購入又は調達（1件あたり10万円未満である備品の修繕を含む。）は、必要の都度、速やかに、乙が自己の責任及び費用において行わなければならない。

- 2 前項の規定の適用がある場合を除き、備品の購入等は、甲が自己の責任において行うものとする。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

施設や機械の破損等は、家畜の飼育管理に直接支障をきたし、職員や来場者の安全確保にも関わるため、修繕を行い、牧場運営が円滑に行える状態を保持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

修繕する設備、備品が予測できないことから、指標をもって成果を評価することが困難であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨牧場 麦島牧区 ポンプ庫修繕 ・東濃牧場 ホイルローダー修繕、ホイルローダー部品交換修繕、畜舎スタンション取替 <p>当該修繕を実施することで、牧場運営を円滑に行うことができた。</p>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨牧場 ホイルローダー修繕 ・東濃牧場 堆肥舎換気扇取替、トラクター修繕 <p>当該修繕を実施することで、牧場運営を円滑に行うことができた。</p>
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨牧場 管理棟エアコン設置、堆肥舎屋根部分修繕 ・東濃牧場 牛舎カーテン修繕、トラクター修繕 <p>当該修繕を実施することで、牧場運営を円滑に行うことができた。</p>
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</p> <p>3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない</p>	
<p>(評価)</p> <p>2</p>	<p>職員や来場者の安全確保に関わるため、また、緊急な対応が必要となる場合もあり、必要性は高い。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</p> <p>3: 期待以上の成果あり</p> <p>2: 期待どおりの成果あり</p> <p>1: 期待どおりの成果が得られていない</p> <p>0: ほとんど成果が得られていない</p>	
<p>(評価)</p> <p>2</p>	<p>適切な修繕がなされていることにより、牧場運営が円滑に行われている。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)</p> <p>2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている</p>	
<p>(評価)</p> <p>1</p>	<p>修繕計画により効率的に進めている。</p>

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
家畜を飼育する業務の性質上、故障したら直ちに修繕対応しなければならない案件も多く発生し、これら緊急の案件については、指定管理者である（一社）農畜産公社の負担で修繕を行う場合がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
施設設備の現状把握を定期的に行い、計画的に修繕を行う。
指定管理者には、協定書等に基づき施設等の長寿命化につながる日常メンテナンスを適正に行わせる。
設備備品の更新については、個別に要求する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】